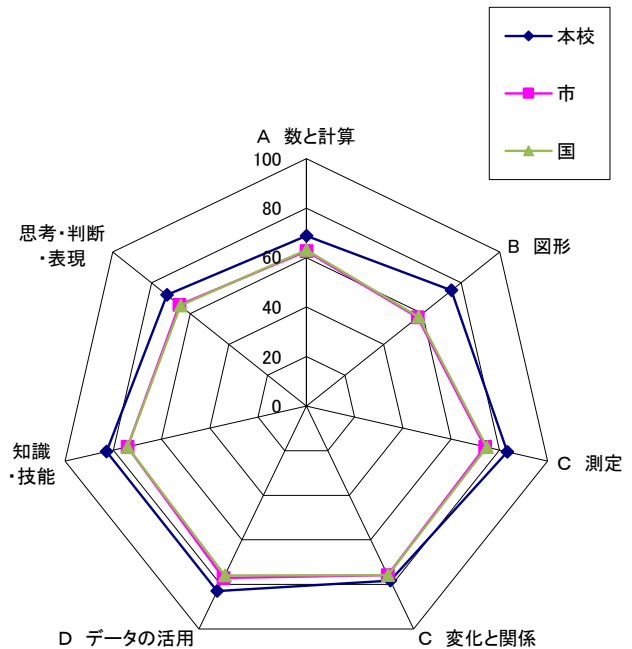


# 宇都宮市立清原北小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

### 【算数】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	A 数と計算	68.8	62.6	63.1
	B 図形	75.0	57.5	57.9
	C 測定	83.3	74.1	74.8
	C 変化と関係	78.3	75.8	75.9
	D データの活用	83.0	77.1	76.0
観点	知識・技能	82.8	74.1	74.1
	思考・判断・表現	72.1	65.6	65.1
	主体的に学習に取り組む態度			



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
A 数と計算	<p>平均正答率は、市より6.2ポイント高く、国より5.7ポイント高い。</p> <p>○基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述する問題の正答率は、国より13.5ポイント高い。</p> <p>●示された除法の結果について、日常生活の場面に判断する問題では、国の平均より3ポイント低い。</p>	<p>・計算のきまりについて再度確認し、きまりを使って正しく計算できるようにするだけでなく、言葉で説明することができるようにする。</p> <p>・問題文をよく読んで、何を求めればよいかをつかませ、示された条件を図の中書き込ませるなど工夫して問題に取り組むようにする。</p>
B 図形	<p>平均正答率は、市より17.5ポイント・国より17.1ポイント高い。</p> <p>○三角形の面積を求める問題では、正答率が75%で国に比べて19.9ポイント高い。</p> <p>●複数の図形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを記述する問題では、正答率は国より高いが、無回答率も高かった。</p>	<p>・実際に図形を描くなどの体験的な学習活動や操作的な学習活動を取り入れ、図形の性質や構成要素に着目させて、図形についての理解を深めるようにする。</p>
C 測定	<p>平均正答率は、市より9.2ポイント高く、国より8.5ポイント高い。</p> <p>○条件に合う時刻を求める問題の正答率は、100%であった。</p>	<p>・問題文を読み、問われていることを正確に捉えられるようにしたり、図や数直線を活用して立式できるようにしたりする。</p>
C 変化と関係	<p>平均正答率は、市より2.5ポイント高く、国より2.4ポイント高い。</p> <p>○速さを求める除法の式を求める問題の正答率は、国に比べて9.2ポイント高い。</p> <p>●速さが一定であることを基に、道のりと時間を考察する問題では、国の正答率より1.7ポイント低かった。</p>	<p>・速さは日常生活においてよく使われる内容であるため、日常生活での場面を取り上げ、答えを求められるようにする。</p>
D データの活用	<p>平均正答率は、市より5.9ポイント高く、国より7ポイント高い。</p> <p>○棒グラフから数量や関係を読み取る問題の正答率は100%であった。</p>	<p>・棒グラフや帯グラフを適切に読み取り判断することができるように、生活の中における使用場面を具体的に設定するなどし、意欲的に課題解決に取り組めるように工夫する。</p>